

【概要】

基礎生化学、代謝生化学及び分子細胞生物学 で学んだ生体構成成分に関する知識を基礎として、生体の基本原則であるDNA RNA タンパク質と伝達される遺伝情報の流れを理解するとともに、近年急速な発展を遂げている「遺伝子工学」、「細胞工学」についての概要を修得する。また、再生医療の基盤となるヒトの発生について、機能形態学にて習得した知識と関連付けながら、器官の形成・成長の過程を修得する。さらに学んだ知識を確実に身につけるために演習問題にも取り組む。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による